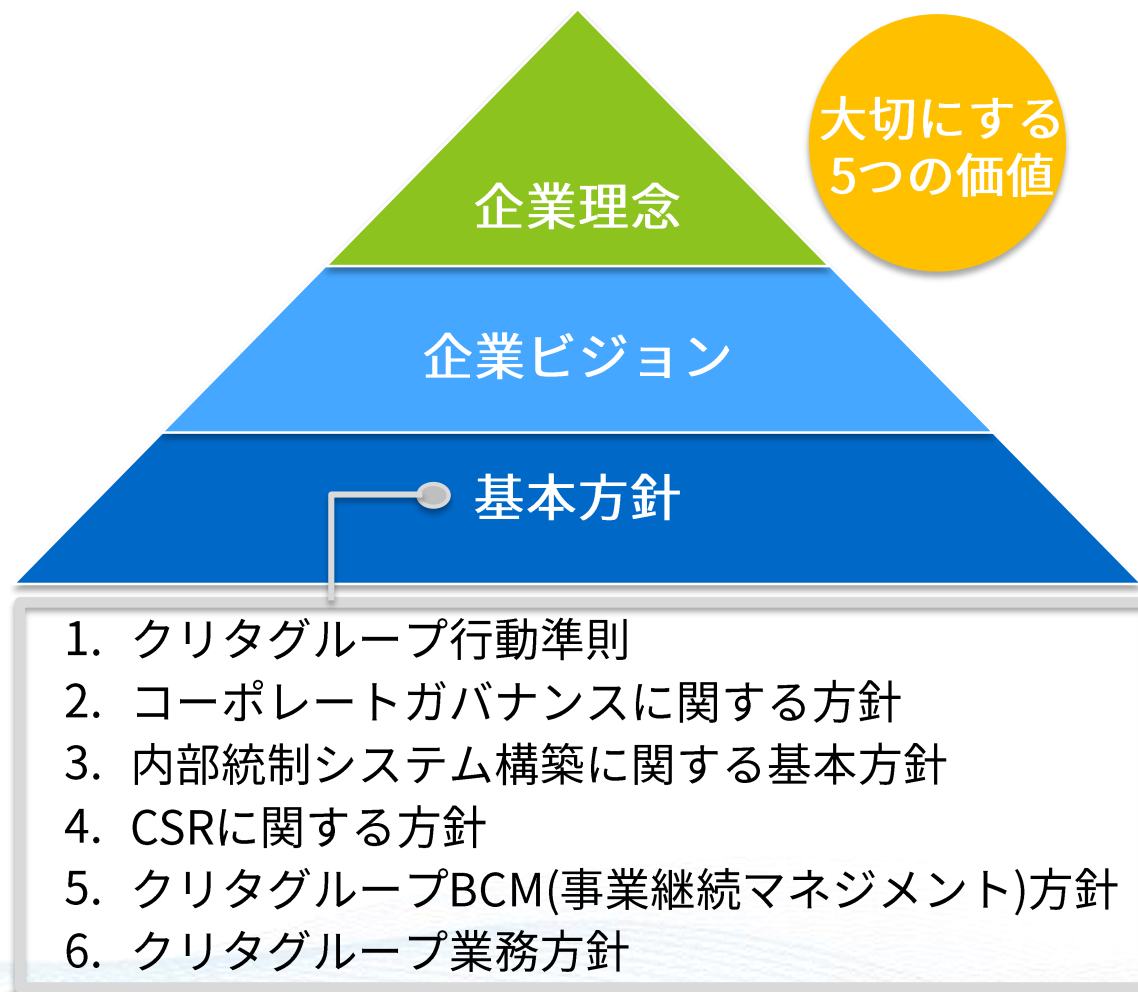


栗田工業株式会社 株主説明会

- ① クリタグループの理念体系の制定
- ② 新中期経営計画「MVP-22」
- ③ MVP-22の重点施策
- ④ CSRに関する方針

「クリタグループの理念体系」の制定

「21世紀ビジョン」から「クリタグループの理念体系」へ



企業理念を起点とし、クリタグループが将来にわたり社会に果たしていく使命と中長期的に目指す姿、その実現に向け拠り所とする考え方や価値観を改めて整理し、クリタグループの理念体系として定めた。

旧企業ビジョン

水と環境の先進的マネジメント企業

新企業ビジョン

持続可能な社会の実現に貢献する
「水と環境の独創的価値の創造者」

持続可能な社会の実現に貢献する 「水と環境の独創的価値の創造者」

- 1 クリタグループは、イノベーションを継続し、自然環境、産業、人々の生活に貢献する事業を通じて、環境の保全や資源の有効活用といった社会との共通価値の創造に取り組み、企業理念を実現していく。
- 2 クリタグループは、お客様の無二のパートナーとして「安全性の追求」「生産性の向上」「環境負荷低減」といったお客様の価値を創造していく。
- 3 クリタグループは「サービス事業」をさらに進化させ、薬品、装置、メンテナンスの技術、商品、サービスを駆使した総合ソリューションを、お客様に最速で提供していく。

新中期経営計画MVP-22

Maximize Value Proposition 2022

確固たる収益基盤を持った グローバル・バリュークリエーター

3つの「見る」で変革

「顧客から見る」

顧客視点の
ビジネスプロセス

「価値から見る」

バリュー
プライシング

「外から見る」

オープン
イノベーション

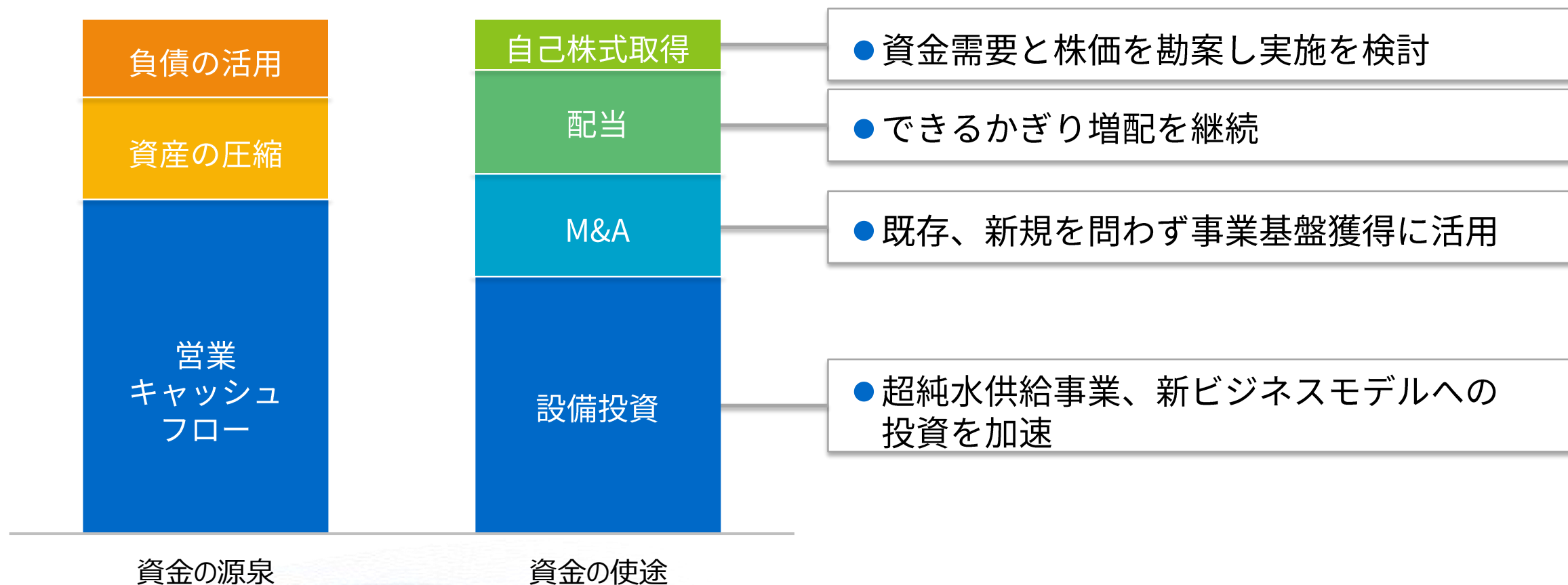
基本方針

既成概念を壊し、仕事の品質とスピードを飛躍的に高め、顧客親密性を最大化する。

重点施策

- CSVビジネスの展開
- プラント生産体制の再構築
- 研究開発の基盤強化と推進
- 総合ソリューションの拡充
- 新事業の創出とイノベーション推進
- グループガバナンスの体制整備

成長分野への集中投資と資本の効率的活用



収益性と資本効率を重視

売上高年平均オーガニック成長率

3%以上

売上高営業利益率

15%

自己資本当期純利益率
(ROE)

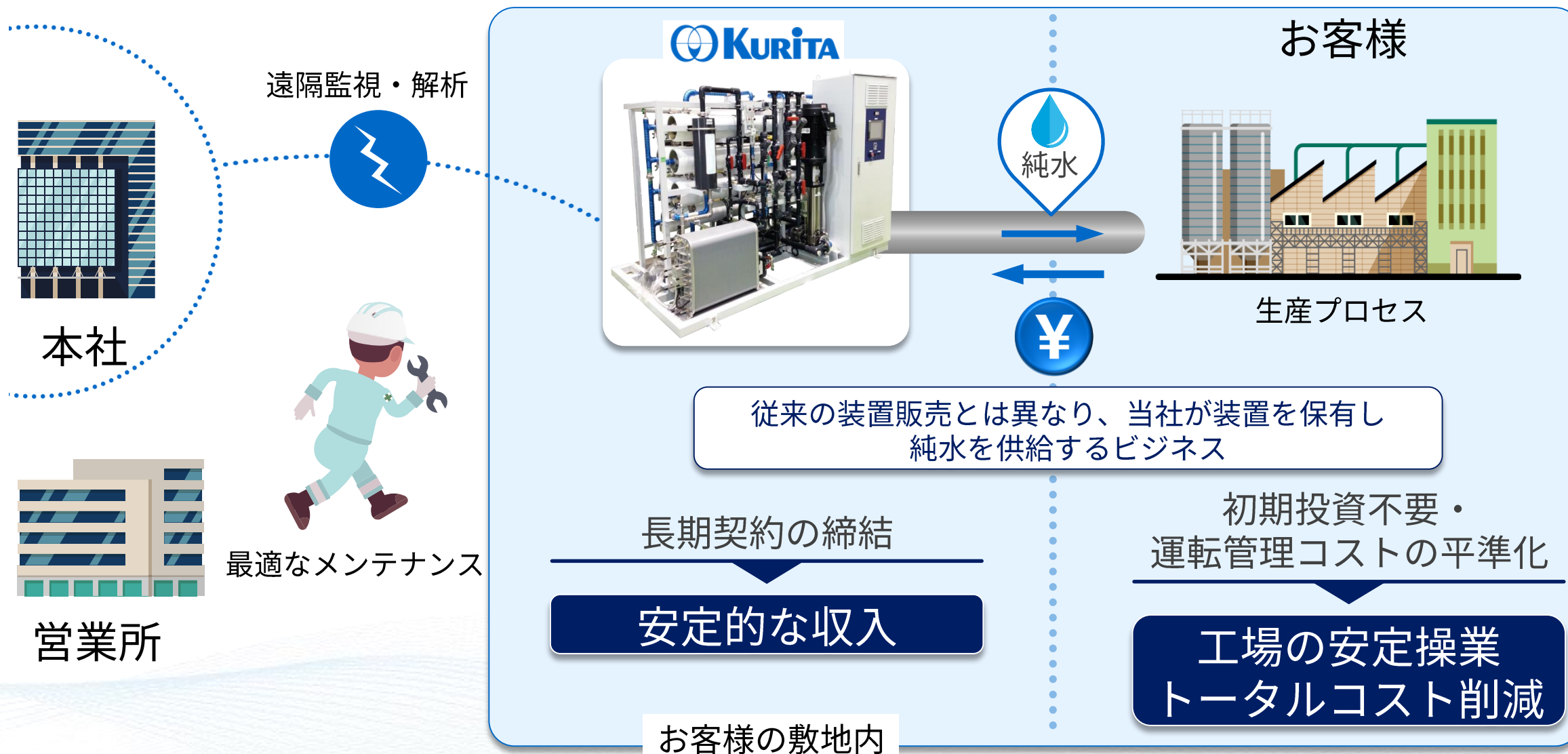
10%以上

投下資本収益率 (ROIC)
による管理の導入

事業セグメントごとに
資本効率の向上を目指す

重点施策 ～国内事業～

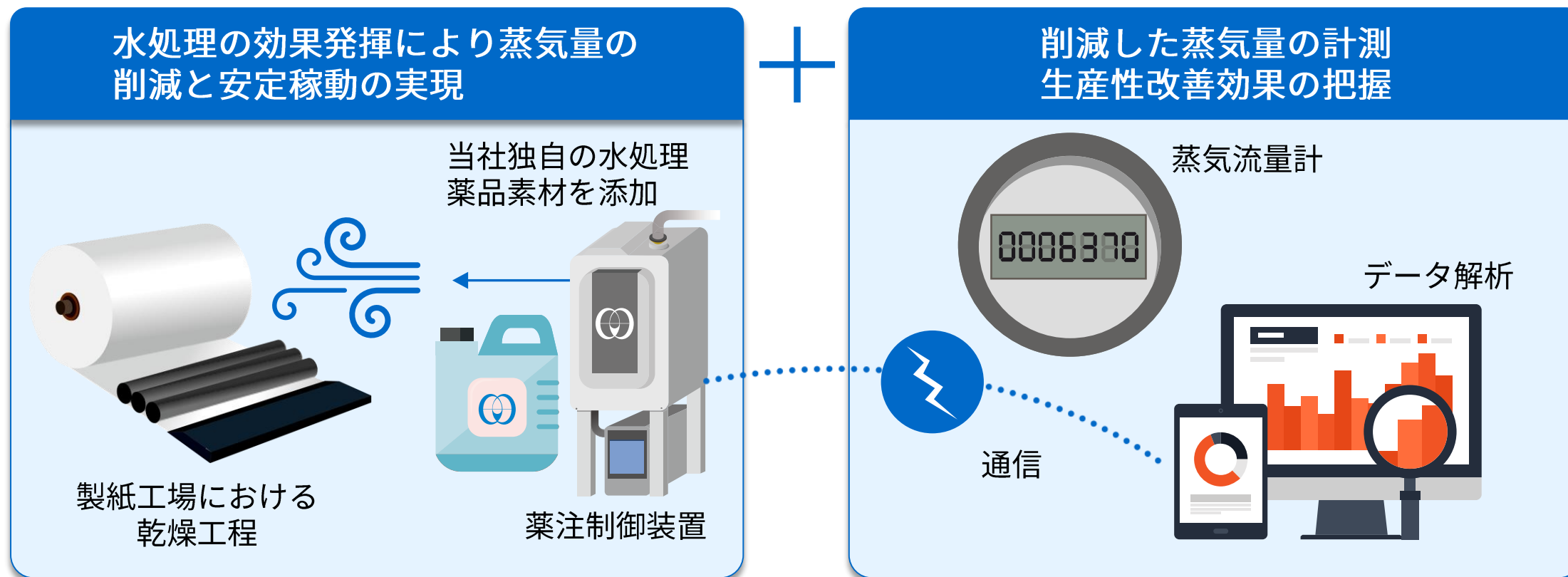
KWSS (Kurita Water Supply Service) : 小規模な純水供給サービス



重点施策 ～国内事業～

ファインスチーム

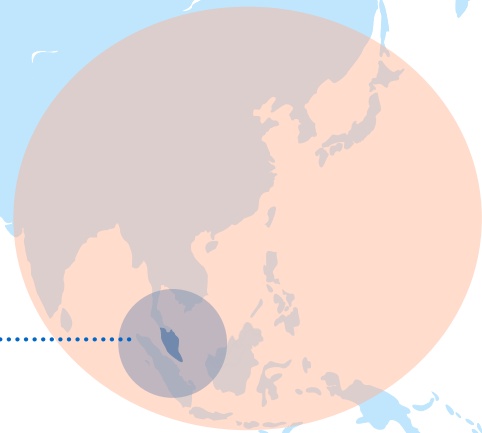
- 当社独自の水処理薬品により省エネルギーに貢献
- お客様が享受するメリットを定量化し「価値の見える化」へ



重点施策 ～海外事業～

欧州・アジアの生産体制の拡充

マレーシア、フランスの生産拠点を中心とした
サプライチェーンの強化



北米事業拡充に向けた探索

M&Aを活用した水処理事業基盤の拡充



排水回収ソリューションの展開

排水回収等の水資源を有効利用するソリューションの展開

事業基盤の整備

- グループ内の人材・技術・設備の最適活用
- グローバルな研究開発基盤の強化

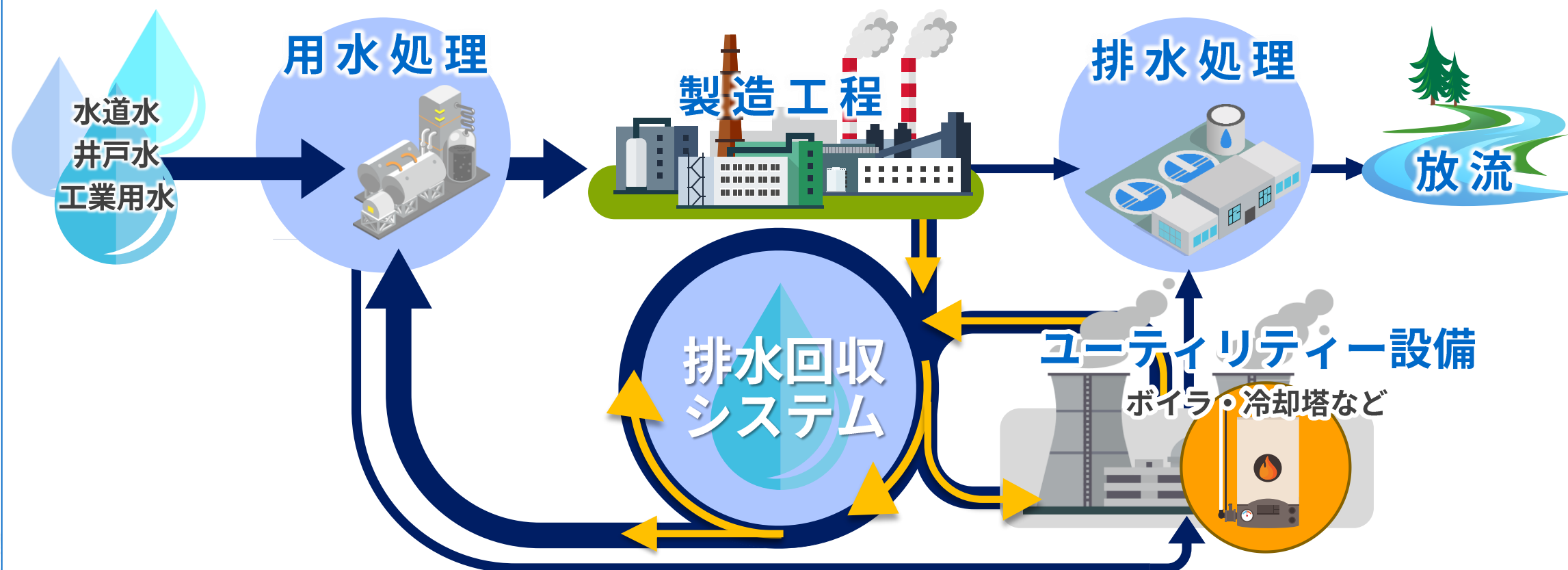
重点施策 ～海外事業～

企業にとって「節水」は重要な経営課題

- 水資源の枯渇や偏在
- 水単価の高さ
- 中国の化学工場で排水基準の厳格化
- 環境課題・社会課題に取り組む世界的な潮流

➡ 節水ニーズの
顕在化

クリタの節水への貢献



クリタの排水回収システム

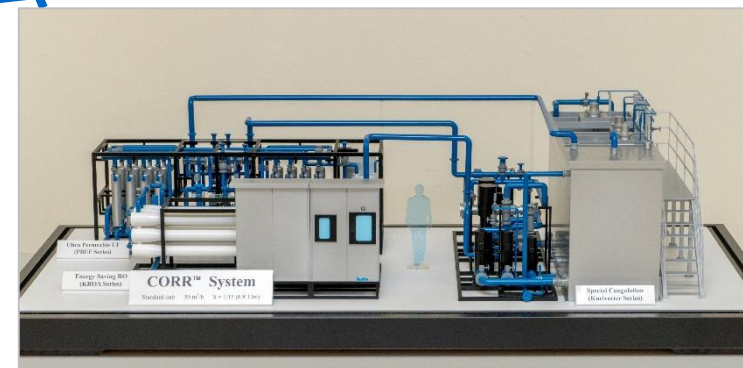
独自の薬剤と処理装置、監視・制御技術の組み合わせ

さまざまな排水に適用可能

従来に比べてシンプルなシステム構成

- 取水、排水の削減
- イニシャルコストとランニングコストの削減
- 環境規制への対応

環境保全と排水回収によるお客様の経済的メリットの両立



CORR™システム



冷却水ブロー水回収システム

Fracta社の子会社化

FRACTA

- AI、MLによるビッグデータ解析技術
- 配管の素材、使用年数、土壌、気候、人口などのデータを組み合わせて劣化を予測

米国における状況

- 老朽化した水道管の破損・漏水、年間24万件発生
- 従来の簡易予測の精度の低さにより適切な管理・更新が困難



米国水道事業者

- 水道管の最適な交換時期の把握
- 水道インフラの更新計画の最適化

ソフトウェア
開発

ソフトウェア
利用

水道管劣化
予測ソフト
(SaaS※)



- 設備投資やメンテナンス費用の大幅削減へ
- 予測ソフトウェアの潜在市場は年間約2,200億円の見込み



- オープンイノベーションの推進
- AI（人工知能）やML（機械学習）を水処理技術やサービスに適用していく

※ SaaS: Software as a Service の略称。クラウド上のソフトウェアを利用料金を支払って利用できるサービス。

CSRに関する方針

企業理念の実現に向けクリタグループが
成長し続けていくためにCSRを経営戦略の中核に位置付ける

CSRに関する方針

基礎テーマ・・・○

成長機会テーマ・・・○

水と環境の問題にソリューションを提供し、未来への責任を果たす



